

おかげさま

原中学校便り76号

R2.3.18

二学期終業式及び令和元年度修業式 校長講話

令和元年度の教育課程が終わろうとしています。三学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三月二日午後より臨時休校の措置をとることになり、紙面での三学期終業式及び令和元年度修業式となりました。生徒の皆さんにとっても、我々職員にとっても、初めての経験で、戸惑いもあることと思いますが、ここで三学期の終業、令和元年度の修業と致します。

また、三年生は全員の卒業を、一・二年生は全員の進級を認めることとします。一人ひとり様々なことがあった一年間だったり三年間だったりしたと思いますが、生き生きと学び、爽やかに生活している皆さんの姿が、三年間の教育課程や各学年の教育課程を修了するにふさわしいと判断しました。一方では、更なる向上への期待をもち、卒業や進級を認めることとしました。

三月十八日は、いよいよ卒業証書授与式です。三年生にとっては中学校生活の締めくくりの日です。これは、義務教育最後の式でもあります。しかしながら、前述の新型コロナウイルス感染拡大防止対応の関係で、在校生はじめ、ご来賓の皆様にご参加いただけないこと、保護者の皆様にも最小範囲内のご出席をお願いしていることなど、規模を縮小しての挙行となりました。このような状況の中でも、今の仲間とできる一生に一度の卒業証書授与式を、「日本一の式」にしたい気持ちでいっぱいです。参加が叶わなかったお家の方々、在校生、ご来賓の皆様も同様の気持ちであることに違いありません。

さて、三学期の終業、令和元年度の修業を迎え、皆さんの心や頭の中にどんなことが浮かんでくるでしょうか。四月の始業式では、高丸もと子さんの「今日からはじまる」という詩を紹介しました。「あなた」「みんな」そして

「わたし」に会えてよかった。更に、「だれも知らない音だけど わたしの殻をやぶる音」という部分について、「一つ殻を破り捨てて、自分を成長させるスタートを切る日にしてください。」という話して今年度を出発しました。

二学期の始業式では、プロゴルファーである渋谷日向子選手の「スマイリング・シンデレラ」「笑顔」を取り上げ、「笑顔には、自分もそしてそこにいるあなたも幸せにする不思議な力があるのだと思います。笑顔を大切にしていきましょう。」と繋ぎました。

三学期始業式では、国際連合が示している「持続可能な開発目標」(SDGs)ということと、その概念である「誰一人置き去りにしない」という言葉や、「早く行きたければ 一人で行け。遠くまで行きたければ 皆で行け。」というアフリカのことわざを紹介して、まずは「持続可能な目標」を立てましょう。そして、令和二年の原中学校は「誰一人おいていかず、皆で遠くまで行く、そんな学校にしたいと思います。」とお話ししました。

締め括りの目を迎えるにあたって、自分を支えてきてくれた人々(友達や先生)や物、感謝したい人々や物、心配をかけた人々やその事柄など、自分と人や物との関係で、或いは自分自身のこと、様々なことが思い浮かんでくれば素晴らしいことだと思います。一年の締め括り、三年間の締め括り、節目ということ、「ありがとうございます。お蔭様でした。」という感謝の気持ちが湧いてくるのが最も大切なところではないでしょうか。

三月十八日は、全校の生徒・職員で、(寝生の参加はあきらめ)「心をついに、日本の卒業証書授与式」を創り出しましょう。そして、お世話になった卒業生の門出を全員で祝いましょう。更には、春爛漫の四月、清新の気と笑顔で、それぞれに進学や進級し、躍動することを願いつつ、三学期終業式及び令和元年度修業式の言葉とします。

令和二年三月十七日

原村立 原中学校長 齊藤 博

学校自己評価アンケートまとめ

今年度の保護者の皆様による学校アンケートの結果のまとめです。

A↓当てはまる B↓だいたい当てはまる C↓あまり当てはまらない D↓当てはまらない
 についてパーセントにまとめ、昨年度の結果と合わせて掲載しました。

全体的な数値については、どの項目においてもここ数年際だった変化はありません。

その中で、11番から15番の項目において、Aの数値が昨年度より向上していました。いずれの項目もBの数値が減少した分、Aの数値へ移行しているように思われます。

原中学校の教育活動に関して保護者の皆様の期待や信頼の表れと感じ、大変感謝しています。こうした期待を励みに、職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

一方で「1 お子さんは、楽しく学校にいらっている。」「9 学校はお子さんが学級内で安心して過ごせる温かい雰囲気をつくらうと努力している。」の項目については、下がり気味の数値でした。こちらについては大きな課題と捉え、学校生活全体について見返していきたいと思えます。まず、その根底となる「楽しい授業づくり・授業改善」をはじめとして、生徒一人一人の思いに寄り添った活動を進めていきたいと思えます。

令和元年度 学校自己評価アンケートまとめ

上段 R1 下段 H30

設問No.	A	B	C	D
1 お子さんは、楽しく学校に行っている。	44%	43%	11%	2%
	48%	47%	4%	1%
2 お子さんは、自分から積極的に取り組み、今までよりも学習意欲が増えている。	12%	44%	39%	5%
	20%	46%	31%	3%
3 お子さんは、自ら計画し、工夫して家庭学習に取り組みることができるようになってきている。	11%	43%	36%	10%
	13%	46%	31%	10%
4 お子さんは、友だちに対する言葉遣い、思いやりや感謝の気持ちを持ち、人・事・物を大切にしている。	21%	71%	7%	1%
	28%	63%	8%	1%
5 お子さんは、授業やその他の活動の中で、自分の考えや思いを進んで発言したり、表現している。	8%	50%	36%	6%
	13%	50%	34%	3%
6 原中生は、学校のきまり(服装、持ち物など)を守っている。	48%	50%	1%	1%
	41%	57%	1%	1%
7 原中生は、交通ルールやマナーを守って登下校できている。	47%	50%	2%	1%
	38%	62%	0%	0%
8 原中生は、家族や地域の人に進んで明るい挨拶ができています。	20%	61%	19%	0%
	17%	63%	19%	1%
9 学校は、お子さんが学級内で安心して過ごせる温かい雰囲気づくろうと努力している。	27%	66%	4%	3%
	30%	64%	5%	1%
10 学校は、いじめや仲間はずれに細心の注意を払い指導している。	23%	65%	11%	1%
	17%	71%	11%	1%
11 学校は、一人ひとりの子どもの個性や特性をよく理解して指導している。	20%	67%	13%	0%
	18%	68%	13%	1%
12 学校は、心を耕し、心をはぐくむ教育(道徳、人権教育)に努めている。	28%	66%	4%	2%
	21%	71%	8%	0%
13 学校は、分かりやすく学力がつく授業に努めている。	18%	70%	12%	0%
	8%	71%	19%	2%
14 学校は、子どもや保護者の相談に丁寧に対応し、連携して指導を進めている。	29%	68%	3%	0%
	27%	69%	4%	0%
15 学校は、保護者や地域に開かれた学校づくりを行い、情報を適切に伝えようとして努めている。	38%	58%	4%	0%
	34%	61%	5%	0%

来年度の強歩大会実施について

来年度の強歩大会に関するアンケートへのご協力・ご提出、大変ありがとうございました。

生徒たち、保護者の皆さま、また地域の方々の声を十分考慮して、次のように決定させて頂きます。

来年度は「第四十一回強歩大会」として実施いたします。

ただし、昨今の生徒たちの現状や道路交通での安全面からコースを見直し、距離の短縮や交通安全を重視して新たな強歩大会に生まれ変わります。

来年度の強歩大会実施に向けて動き出しています。保護者の皆さまの変わらぬ、ご支愛・ご協力を宜しくお願いいたします。

令和元年度末 転・退職される先生方

本年度は、転任・退職される先生方とのお別れの式を中止とさせて頂いたため、紙面をお借りして生徒の皆さん、保護者の皆様にお伝えいたします。

(五十音順で、敬称は略させていただきます。)

大変お世話になりました。

本校に在籍した年数に長短はございますが、原中学校で学んだことを、新しい地でも活かしながら、更に精進したいと思えます。

ありがとうございました。

氏名	校務	本校在籍	新任地等
赤羽 由妃	1-1担任 社会科	6年	松本市立安曇中学校
芦田 佳子	給食調理員	1.04年	退職
植松 秀生	初任研指導教員	2年	茅野市立東部中学校
鹿川 和哉	3-2担任 理科	7年	茅野市立永明中学校
林 園美	給食調理員	4年	原村保育園
山崎 恵一	教務主任	3年	豊丘村立豊丘北小学校 教頭
弓削 晃一	心の教室相談員	11年	退職
米山 徹	生徒支援員	2年	退職 (部活動指導員は継続)
齊藤 博	校長	2年	宮田村立宮田中学校 校長